

17期議員を顧みて

南風原町議会議長 中村 勝



中村 勝 議長

平成22年改選後の9月定例会で議長に就任しました。会議の諸原則を重視し、議会の権限が十分に発揮できるように議会運営に心がけてまいりました。

議会改革としまして、議会活性化調査特別委員会を設置し、議会活性化等の改革を積み重ねながら、開かれた議会、分かりやすい議会を目指し、南風原町議会基本条例を制定しました。議員活動の活性化と議員の資質向上を図る目的として、

調査研究に必要な経費の一部を交付する議会政務活動費の交付に関する条例も制定いたしました。

今年で第3回目となった議会報告会は「参加者が少ない」という課題はあるものの、町民からの素晴らしい意見や提案もあり、引き続き開催してほしい旨の要望が多くありました。

4年間を顧みますと、不発弾処理に関する意見書の提出、信号機設置に関する要請、米兵による女性暴行致傷事件、米軍普天間飛行場オスプレイ配備に関する問題など、意見書・決議等で積極的に行動してまいりました。

平成24年9月9日には「オスプレイ配備に反対する沖

縄県民大会」を開催し、日米両政府によるオスプレイの強行配備に抗議し、その撤回を求めるため10万余の県民が結集しました。平成25年1月28日、安倍晋三内閣総理大臣に対し県民大会実行委員会、県議会、沖縄県市町村関係4団体の連名で建白書も提出しました。

本町はこれまでさまざまな事業を展開しましたが、課題は山積しております。平成24年度からスタートした沖縄振興特別推進交付金事業（一括交付金事業）の有効活用は本町の発展につながります。議員の政策提言等や議員相互間による自由討議も含め、調査研究活動がますます必要かと思いません。

結びになりますが、町民皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。17期議会議長の挨拶といたします。



17期議員